



株式会社 大武・ルート工業

【支援企業紹介】②

ニッチを極め、 岩手から世界市場へ羽ばたく

大武・ルート工業の これがポイント!

製造現場の作業率向上に欠かせない自動ネジ供給機。同社では作業環境に合わせ様々な機種を展開。4月発売のウェアブル機器用の「マイクロネジ供給機」ほか、自動車産業向けの大型ネジ供給機も開発済みだ。

平成26年度工程改善研修会活動報告会を開催 ④

「青森・秋田・岩手 3県合同商談会」を開催 ⑤

試験販売事業出展者募集のお知らせ ⑤

いわてものづくりアカデミー ⑥

いわて異業種交流討議会
及び平成27年度参加者募集のご案内 ⑥

第8回いわて特産品フェアを開催 ⑦

第44回 岩手県の物産と
観光特別展(大いわて展)を開催 ⑦

マーケティング
戦略セミナーを開催 ⑧

よろず支援拠点のご案内 ⑧

新職員紹介 ⑧



事業カレンダー

いわて産業振興センターに関連する事業紹介です

6月 [JUNE]

- 4日~9日 いわて特産品フェア(盛岡市)
- 17日・18日 ものづくりアカデミー・
工程改善基礎講座(北上市)
- 24日~26日 第19回機械要素技術展(東京都)

7月 [JULY]

- 9日・10日 ものづくりアカデミー・管理者のための
生産管理セミナー(盛岡市)
- 23日・24日 ものづくりアカデミー・
次世代リーダー養成講座(八幡平市)

8月 [AUGUST]

- 26日~28日 ものづくりアカデミー・
品質管理中級セミナー

技アリ!

いわての仕事録



1 業務用トレッドミル製造は顧客の要望に合わせた完全オーダーメイドの世界。大企業が参入しづらい、まさにニッチな分野である。
 2 京都の企業と共同で製作された、床反力計内蔵型トレッドミル。プレートやバーにセンサーが付いており、人間の動作を解析できる。床反力計内蔵型は国内製造としては初めてとなる。
 3 工場内には自動旋盤やマシニングセンターなどの主要加工機ほか木材加工部や塗装室も備わっており、使用する部品の7割〜8割まで自社加工が可能である。
 4 昨年12月に導入された最新のファイバーレーザー加工機。ポンペを使わず空気中から窒素を取り込み部材を切断する機構で、従来のプレス機による打ち抜きと違い加工の自由度が向上し、バリも出ないため品質も向上した。
 5 自動ネジ供給機。ネジ詰まりの少ない水平直進フィーダーが技術の核である。
 6 エアー圧送式ネジ供給機。外付けユニットからネジをエアーでドライバーの先端に圧送、大量生産の現場で使用されるロボット供給タイプの需要が伸びている。
 7
 8
 9

ニッチを極め、岩手から世界市場へ羽ばたく

【支援企業紹介】一関市 株式会社 大武・ルート工業

高い技術力で参入企業の少ない 医療用トレッドミル製造を担う

市場の変化やグローバル化にともない、中小企業やベンチャーの中から「ニッチ」と呼ばれる小さな産業分野に活路を見出し、収益を上げるところが増えてきた。一関市に本社をおく株式会社大武・ルート工業もまさにこのニッチ分野に注力、国内はもとより海外展開も果たしている。驚くのは社員は40数名ながら開発部門に10名もの専任を置き、日タイノベーションに取り組むその姿勢。「(開発を)やるかやらないか、それだけのこと」。創業者であると同時に自ら開発部門を率いる技術者である太田義武社長、さらりと話す。

昭和43年、バンドソーのOEM生産からスタートした同社。培った技術でローラー式トレッドミルの製造に参入、走行板に天然木を使う独自技術が注目されてアメリカ製スキー・トレーニングマシンの国内OEM生産を開始する。その後スポーツ科学専門家と出会い、お年寄りなどのリハビリに使用される認知動作トレーニングマシンを制作することに。「ここで医療・介護機器に対する考え方や必要とされる機能などを学んだ」と太田社長は述懐する。平成4年には難関である医療用トレッドミルの認可を取得、製造を開始した。

元々トレッドミルは国内メーカーが少なく、医療や研究機関に使われる業務用ともなるとほとんどが海外製。しかも製

中小企業やベンチャーの事業戦略ともいえるニッチ分野で業績を伸ばす株式会社大武・ルート工業。業務用トレッドミルの製造から自動ネジ供給機と挑戦を続ける太田義武社長に、戦略とビジョンを伺った。

【いわて産業振興センターの活用実績】
 長年に亘る設備貸与制度のほか、外注とのマッチングでは個別相談なども活用し事業推進の一助に。今後は「共創」の方針の元、専門技術や分野の人材紹介を希望している

品はオーダーメイド対応が求められる。同社は「綿密な打ち合わせ」「メンテナンスや故障への対応」など、国内製造のメリットを存分に生かしてシェアを拡大。大学や医療機器メーカー、フィットネスクラブなど納入先は全国に広がる。

新製品開発、異業種との協働…「共創」で日本の未来をつくる

トレッドミルから自動ネジ供給機製造へ。一見脈絡のなさそうなこの事業展開も、積み重ねてきたニッチ分野への挑戦が引き寄せたといえる。

「きっかけは知人の依頼。ゼロベースからのスタートでしたが、市場の広がり可能性を見出した」と太田社長。

トレッドミルとは全く違う精密機械製造、生産体制などの課題もあったが持ち前の開発力で取り組み、平成8年には第一号のネジ供給機の販売を開始する。独自の回転機構でネジをすくいあげ、振動周波数を利用した水平直進フィーダーでレール上のネジを整理して手元に送るといった仕組みは、自重落下式の従来品にありがちのネジ詰まりもなく、またレールの着脱を可能にすることで汎用性も格段に高まった。製品ラインナップも充実させ、今では世界30カ国でも販売されている。

挑戦はさらに続く。平成24年の自動車産業への機器導入に続き、今年4月にはネジ径0.5mmという「マイクロネジ供給機」を発売。今後、市場規模

の拡大が確実なウェアラブル機器への対応も着々と進めている。さらに今年は「今いる業界から飛び出す」をテーマに、自動車関連に加えて住宅関連産業への参入も目指す。

近年、同社では異業種との協働事業が増えてきているという。「これからは『競争』から『共創』の時代」と太田社長がいうように、高い技術力や知識などを持つ企業同士の結びつきが、今後の日本のものづくり産業の盛衰を左右するのは間違いない。

ニッチ分野に着目し、さまざまな挑戦と変革を続けてきた同社。根底には「世の中に必要とされ、喜んでもらえるものを作りたい」というシンプルな思いだけがある。

自由な発想こそ力。開発部門を会社の軸に

ユーザーからの「こんなものが欲しい」という声に応えられる開発力こそ当社の強み。開発部門は社長直轄とし、製造とは別に独自に動ける体制としています。また今年3月から東北大学からの技術支援も始まるなど、開発型企業としてさらなる飛躍も目指しています。

技アリ!ポイント

企業データ

会社名 株式会社 大武・ルート工業
 本社 一関市萩荘字金ヶ崎27
 電話 0191-24-3144
 代表者 太田 義武

創業 昭和43年(1968年)10月
 従業員 44名
 業種 医療機器製造、スポーツ機器、小型産業機器等の販売・製造
 U R L <http://www.ohtake-root.co.jp/>



代表取締役社長 太田 義武



平成26年度工程改善研修会活動報告会を開催しました

いわて産業振興センターでは、岩手県内ものづくり企業の製造技術向上を目的に、関東自動車工業(株)OBを講師として工程改善研修会を実施しております。工程改善研修会は「トヨタ生産方式自主研究会」をモデルとし、県内5社程度をグルーピング、各社の工程を教材として学習する、実践形式のセミナーです。

去る3月27日に平成26年度の活動の集大成として「工程改善研修会活動報告会」を北上市・ホテルシティプラザ北上で開催いたしました。

報告会では、平成26年度の参加企業である城山工業(株)(奥州市)、(株)エイアンドティー(奥州市)、リコーインダストリアルソリューションズ(株)(花巻市)、和同産業(株)(花巻市)が活動内容を報告して、次年度以降の活動を宣言しました。また、活動報告の後には、岩手県産業創造アドバイザー内川晋氏が改善活動におけるタクトタイムや標準化の考え方などについて講演会を開催し、併せて、報告企業の今後の改善活動に対する具体的なアドバイスも行いました。

当日は、産業界・行政関係者等計192名が来場し、県内での工程改善への取り組み意識の高まりが感じられました。今後も県内ものづくり産業の人材育成や競争力の強化を図るため活動内容を、より充実させていきたいと考えています。



工程改善入門用 動画教材のご紹介

生産現場の改善活動に取り組むにあたっての心構えや基礎知識をまとめた音声付動画「工程改善の取組み」をインターネット動画共有サイト「YouTube」で公開中です。社内活動の参考にご活用ください。

• [URL] <https://www.youtube.com/watch?v=M5CFimA1TEc> 工程改善の取組み

工程改善の取組み

より良い物を
より短い時間で
より安く 造るために

改善への取組み 一意識改革

今ある現場の姿は・・・
経緯と実績の積み重ねで、今が成り立っている
今を、変えられない、変えられない

人間の進化・科学技術の進歩＝生き延びる営み
世の中は進化

今ある現場の姿は・・・永久不変？疑問符を付ける。
意識改革(先入観・固定観念の打破)

生産のリードタイム

生産のリードタイムは
「原材料」から「出荷」までに要する時間を言う。

リードタイム

リードタイムの短縮＝製造原価が下がる。

工程改善事業に関するお問い合わせ **ものづくり振興グループ 取引支援チーム**
TEL:019-631-3822 FAX:019-631-3830 E-mail:sitauke@joho-iwate.or.jp

「青森・秋田・岩手 3県合同商談会」の開催について

(公財)いわて産業振興センターでは、北東北3県の(公財)21および産業総合支援センター及び(公財)あきた企業活性化センターとの共催で標記商談会を開催いたします。この商談会は、関東地区の発注企業の皆様と、青森・秋田・岩手県内のそれぞれに特色を持った受注企業の方々が一堂に会して、個別商談や情報交換等をしていただくため開催するものです。この機会に是非ご参加いただき、北東北3県における新規取引先の開拓や、新たなパートナーづくりにご活用くださいますようお願い申し上げます。

開催日 平成27年7月2日(木) 13:00～17:10
開催場所 TRC東京流通センター第一展示場(東京都大田区平和島6-1-1)
実施内容 受・発注参加企業における面談形式の商談
参加対象 関東地区を中心とした発注企業(メーカー・商社) 60社
 青森・秋田・岩手の各県財団に登録している受注企業 180社
申込締切日 平成27年5月14日(木)

[お申し込み・お問い合わせ]ものづくり振興グループ 取引支援チーム 鎌田
 TEL:019-631-3822 FAX:019-631-3830 E-mail:sitauke@joho-iwate.or.jp

貴社の新商品を盛岡地区で試験販売し、手応えを確かめてみませんか?

試験販売事業 出展者募集のお知らせ

消費者ニーズや商品評価の把握にご活用ください!

期間 平成27年5月～平成28年2月末
場所 イオンモール盛岡南「いわて活菜横丁・結いの市」内 試験販売スペース
事業対象者 ●岩手県内の中小企業者
 ●岩手県内において創業しようとする個人及びグループ
 ●農林水産物及びその加工品の生産者等
 ●その他、いわて産業振興センターが適当と認める者
使用可能面積および1事業者あたりの出店限度日数 ●5m×3.2m、最長7日間(間が空いても可)までで調整します。

詳しくはホームページをご覧ください▶ <http://www.joho-iwate.or.jp/tm/>

お問い合わせ ●空き日程の確認、申込：(一社)遠野ふるさと公社(結いの市管理者) ☎019-631-3137
 ●制度についての確認：(公財)いわて産業振興センター産業支援グループ ☎019-631-3823

◆ 品質管理基礎講座 ◆

品質管理の徹底は、不良・クレームの減、ムダ作業の減、コスト減、生産性・信頼性・受注能力向上、体質改善等々、経営全般に著しい効果があり、取引先・社員・経営者の全ての利益に直結します。

本講座は、基礎的な品質管理を確実にできる人材の育成を目指します。

- 対象 製造現場担当者
- 定員 25名程度
- 開催日 5/21(木)、5/22(金)
- 会場 北上オフィスプラザ(北上市相去町山田2-18)
- 受講料 1名につき10,000円(賛助会員企業は8,000円)
※支払研修終了後に納入通知書を送付。

- 持参品 筆記用具、計算機
- その他
 - 全研修時間の3分の2以上の出席者に修了証書を交付します。
 - 服装は自由です。
 - 昼食休憩を1時間とりず。

- 講師 日本工場経営者協会 内山 昭夫
昭和17年 東京生まれ
昭和41年 玉川大学工学部卒 同大学助手
昭和48年 玉川大学講師
昭和51年 独立
その後、日本工場経営者協会、(株)東京工業経営研究所を設立。
専門：統計学、品質管理。
著書：「実験データの解析法」「初心者のための品質管理」

■日程・研修内容
http://www.joho-iwate.or.jp/kenshu/hinki.html

◆ 工程改善基礎講座 ◆

近年のものづくりでは、世界経済の影響を受け、より一層ムダ・ムラ・ミスを排除した効率的生産が求められています。

本講座では、作業効率向上等に対応した工程改善のポイントについて伝授し、改善取り組みへのきっかけづくりを行います。

- 対象 製造現場担当者
- 定員 25名程度
- 開催日 6/17(水)、6/18(木)
- 会場 北上オフィスプラザ(北上市相去町山田2-18)
- 受講料 1名につき10,000円(賛助会員企業は8,000円)
※支払研修終了後に納入通知書を送付。

- 持参品 筆記用具、計算機、ストップウォッチ又は秒計測できる時計
- その他
 - 全研修時間の3分の2以上の出席者に修了証書を交付します。
 - 服装は自由です。
 - 昼食休憩を1時間とりず。

- 講師 (株)アドバンス経営 中田 耕治
昭和25年生まれ 岩手大学電気工学科卒業関西学院大経営学修士コース卒
昭和50年 ダイハツ工業(株)入社 生産技術・工場管理部門経験
平成5年 (株)アドバンス経営設立(旧 株式会社西経営コンサルティング)
資格：MBA経営学修士、エネルギー管理士(熱・電気)他
専門：工場管理、管理者教育
著書：「利益のあがる勝ち残り工場経営」他

■日程・研修内容
http://www.joho-iwate.or.jp/kenshu/koutei.html

このほかのラインナップ...

次世代リーダー養成講座・中堅管理者・後継者養成講座・原価管理とコストダウンセミナー・ISO9001内部監査員養成講座

詳しい内容はホームページをご覧ください。お申し込みもできます。 <http://www.joho-iwate.or.jp/kenshu/>

※当センターの賛助会員の皆さまは、各コースの受講料が2割引になります。

次世代の中小企業経営者等による異業種交流グループ

いわて異業種交流討議会 通称「いいこと」の活動報告
及び平成27年度参加者募集のご案内

岩手県の若手中小企業経営者・次期経営者等による異業種交流グループ「いわて異業種交流討議会(通称「いいこと」)」につきましては、随時、「産業情報いわて」誌面で活動状況をご紹介してきたところですが、いわて産業振興センターでは、平成27年度も引き続き「いいこと」の活動をサポートしていくこととしました。

つきましては、次世代の企業経営者等の人的ネットワークを一層充実したものとすため、本年度新たに参加して下さる方を募集します。参加を希望される方は、下記の事項にご留意のうえ、奮ってご参加ください。

募集概要

- 対象者：概ね50代前半以下の企業経営者、次期経営者(※)等
※「次期経営者」とは、将来、経営幹部として会社を担っていくことが期待されている方を指しており、取締役等の経営者層に属している必要はありません。また、現経営者の親族であるかどうか問いません。
- 募集人数：5~8人程度
- 活動期間(予定)：平成27年7月~平成28年2月
(本年度は概ね隔月で交流会を開催する予定です。)

- 会費は特に徴収しませんが、交流会終了後の懇親会(参加は任意)の会費や、交流会を遠隔地で開催する場合の交通費等は各自でご負担願います。
- 定例の交流会には参加者ご本人が出席していただくことが基本であり、代理出席等は認められませんのでご注意ください。
- 参加者の方には、企業見学の受け入れをお願いすることがあります。



詳しくは、産業支援グループ 熊谷(TEL:019-631-3823)までお問い合わせください。

第8回いわて特産品フェア開催

IWATE Tokusan-hin Fair

8回目の開催となる今回は、オープニングプレゼントやオープニング特別提供品の他、県内各地から75事業者が出展し、選りすぐりの食料品・工芸品などが一堂に会します。皆様のご来場をこころよりお待ちしております。

日時 平成27年6月4日(木)~9日(火)
午前10時~午後7時(最終日午後5時終了)

会場 パルクアベニューカワトク
7階催事場&ダイヤモンドホール&1階特設会場

主催 いわての物産展等実行委員会((公財)いわて産業振興センター)
岩手県

お問い合わせ先 いわての物産展等実行委員会事務局
TEL019-631-3824



スペシャルイベント

- 4日(木・初日)午後には、「白澤みさきミニコンサート」が行われ、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会イメージソング「笑顔の賛歌」などの歌が披露されます。(※入場無料)会場では、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の募金も行っております。よろしくお願いたします。
- 7日(日)午後には、一関市「道の駅蔵美深・蔵餅隊」による餅つき&餅振る舞いが行われます。



第44回 岩手県の物産と観光特別展(大いわて展)を開催しました

平成27年4月15日(水)~平成27年4月20日(月)まで、東京都日本橋高島屋8階催会場において、「第44回岩手県の物産と観光展(大いわて展)」を開催いたしました。今回は、同時開催として「岩手久慈琥珀と世界の琥珀展」も行われました。

今年の「大いわて展」も、震災から4年が過ぎましたが、復興の現状を風化させないよう、岩手の特産品と観光のPRを行いました。

会場では「特別提供品」や「日替わり提供品」の提供のほか、「ソウルフード」にスポットをあて、盛岡三大麺の

イートインや、「福田パン」の実演販売を行いました。また、来年に世界遺産登録から5年目となる平泉の出土品のレプリカやパネル等の展示を行ったほか、週末には「金澤美咲さんの演歌ショー」や「弁慶の力餅ミニ競技大会」が行われ、ゆるキャラ達とともに、沢山の皆様に参加していただきました。

今回の出店事業者は、食品51社、工芸品21社、合計72社。売上は、85,740千円(税込・速報)前年対比108.2%となりました。



※ マーケティング戦略セミナー開催しました ※

平成27年3月12日、「岩手県よろず支援拠点」・「いわて中小企業支援プラットフォーム」合同のマーケティング戦略セミナーを、盛岡市・ホテルメトロポリタン盛岡本館にて開催しました。

基調講演ではMORE経営コンサルティング㈱代表取締役・日野眞明氏を講師にお招きし、「お客様の心をガッチリつかむ、中小企業のブランドマーケティング」と題して講演いただきました。

それに先立ち、東北経済産業局経営支援課・横田彼呂氏から「中小企業・小規模事業者向け支援体制と支援施策について」、

(公財)日本生産性本部・伊藤憲司氏より「中小企業ワンストップ総合支援「ミラサポ」(未来の企業★応援サイト)を使いこなしましょう!」と題してそれぞれ最新の情報を御紹介いただいたほか、岩手県よろず支援拠点コーディネーター・伊藤朗から、支援拠点の取組について説明しました。

当日は約80名の来場があり、アンケートでは86.8%の方々より「大変良かった」「良かった」と回答いただくなど、御好評を頂きました。

今後も同様にセミナー等を催す予定ですので、ぜひ御参加ください。

【お問い合わせ先】 岩手県よろず支援拠点 TEL 019-631-3826 yorozu@joho-iwate.or.jp

よろず支援拠点 相談受付中!

公益財団法人いわて産業振興センターでは、中小企業・小規模事業者・創業予定者の皆様から幅広く相談を受け付ける「よろず支援拠点」を開設しております。どうぞお気軽に御相談ください。(1回1時間まで、無料で、何度でも相談を受けられます)

「よろず支援拠点」は、以下の3つの機能を有します。

- ① 既存の支援機関では十分に解決できない経営相談に対する「総合的・先進的経営アドバイス」
- ② 事業者の課題に応じた適切な「チーム編成を通じた支援」
- ③ 支援機関等との接点がなく相談先に悩む事業者に対する「的確な支援機関等の紹介」

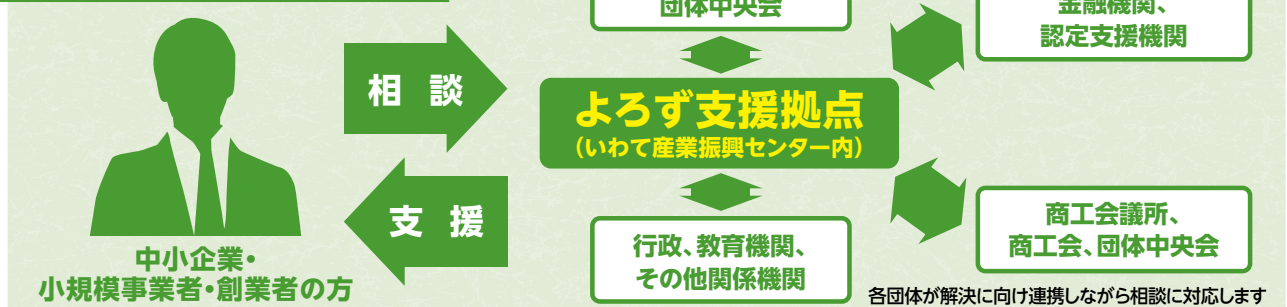
今年度は経営に関する各種専門家(中小企業診断士、税理士、社労士等)のコーディネーター、サブコーディネーターを8名配置し、当センターの各種支援ツールで補完しながら、万全の体制で相談に対応します。

企業経営に関する困りごと・お悩み事の問題解決に、当センターの「よろず支援拠点」をぜひご利用ください。

専用相談ダイヤル 019-631-3826

岩手 よろず

・よろず支援拠点のイメージ



新職員紹介

センターに新たに勤務している職員をご紹介します。



ものづくり振興グループリーダー
菊池 孝

4月1日付けで、ものづくり振興グループリーダーとして県からの派遣で着任しました菊池と申します。本格的にものづくりや研究開発に携わるのは初めてとなりますが、これまでの産業振興分野での経験も生かし、お役に立ちたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。



総務・金融グループ 主事
城守 正博

2月から当センターに勤務し、総務・金融グループに配属となりました。金融機関に7年勤めていた経験を活かし、岩手県の発展に少しでもお役に立てるよう頑張っていきますので、よろしくお願いたします。

(公財)いわて産業振興センター広報誌

産業情報いわて

2015年5月10日

発行/公益財団法人 いわて産業振興センター

〒020-0857 盛岡市北飯岡2丁目4-26(岩手県先端科学技術研究センター2F)

TEL.019(631)3823 FAX.019(631)3830

E-mail joho@joho-iwate.or.jp URL http://www.joho-iwate.or.jp/

編集印刷/川嶋印刷株式会社



この冊子は地球に優しいベジタブルオイルインクを使用しています。